平成 26 年度

自治会振興シート調査結果について

平成 27 年 1 月

鹿角市市民部市民共動課

調査の概要

1. 調査目的

少子高齢化や市民ニーズの多様化、コミュニティ意識の希薄化など自治会を取り巻く状況は厳しくなっていますが、その一方で、東日本大震災においては地域住民相互の“絆”がお互いを支え合う大きな力になっているなどその大切さが改めて認識されています。

本市では「共動」を理念に掲げ、第6次総合計画の推進を図ることとしており、安全・安心な地域社会づくりをしていくうえで自治会など住民自治組織が果たす役割は大きく、その活性化を図っていきたいと考えています。

本調査では、自治会の組織運営や活動内容に関する実態の把握を行うことで、今後の自治会活動の参考とし、自治会の活性化に役立てていくことを目的としています。

2. 調査方法

「基礎調査票」と「アンケート調査票」の2種類。

- ・基礎調査票は、平成23年度の調査内容の確認と回答を依頼。
- ・アンケート調査票は、設問を58問とし、回答を依頼。

3. 実施期間

7月1日（火）～8月1日（金）

地区担当員が広報と合わせて配布、回収に伺ったほか、市役所市民共動課または最寄りの支所・市民センターに提出。

4. 調査対象

市内190自治会・町内会（各自治会長等に回答を依頼。）

5. 調査結果

送付数 190自治会

回答数 190自治会

回答率 100%

6. アンケート集計結果の公表について

本調査の集計結果は、各自治会に配布するほか、市ホームページ上で公開します。

その際、自治会名の記載は行わず（問24を除く）、統計的に取り扱うこととします。なお、集計結果に記載された活動内容を参考にしたいという自治会の申し出等があった場合、個別に自治会を紹介することがあります。

※調査結果の割合は、小数点以下第2位を四捨五入しており、一部合計がずれる場合があります。

目 次

自治会振興シート(基礎調査結果).....	1～4
-----------------------	-----

自治会振興シート(アンケート結果)

自治会長や役員について

問1. 会長の年齢について.....	5
問2. 会長歴(通算)について.....	5
問3. 会長の選任方法について.....	6
問4. 会長や役員の交代を円滑に行うための工夫について.....	6
問5. 会長の任期について.....	7
問6. 役員会の開催頻度について.....	7
問7. 自治会業務の引継ぎについて.....	8
問8. 自治会業務の引継ぎの方法について.....	8～9
問9. 会長及び役員の報酬・謝礼について.....	9～10

年会費について

問10. 年会費の徴収について.....	11
問11. 年会費の減額について.....	11～12
問12. 年会費の徴収方法について.....	12～13

会員名簿について

問13. 会員名簿の作成について.....	14
問14. 会員名簿の更新時期について.....	14
問15. 会員名簿の作成方法について.....	14～15
問16. 会員名簿の取り扱いについて.....	15

自治会館について

問17. 自治会館の有無について.....	15
問18. 自治会館の所有状況について.....	15～16
問19. 自治会館の建設時期について.....	16
問20. 自治会館運営上の課題について.....	16～17
問21. 自治会館を所有していない自治会について.....	17

自治会活動について

問22. 自治会活動について.....	18～19
---------------------	-------

問 2 3. 自治会を運営する上での悩みについて	19～20
問 2 4. 親交がある自治会について	20～24
問 2 5. 自治会での課題解決について	24
問 2 6. 自治会の合併について	24～25

自治会への加入について

問 2 7. 自治会への加入率について	25
問 2 8. 居住区域に住んでいない会員について	25
問 2 9. 加入促進の取り組みについて	26

自治会の連合組織について

問 3 0. 地区連合組織への加入について	27
問 3 1. 地区連合組織の必要性について	27
問 3 2. 地区連合組織の役割について	27

地域づくり協議会等の主催事業への参加について

問 3 3. 市民センター事業について	28
問 3 4. 地域づくり協議会等に期待することについて	29

広報等配布物の配布状況や取り扱いについて

問 3 5. 広報等配布物の範囲について	29
問 3 6. 広報の配布方法について	30
問 3 7. 広報以外の配布物について	30
問 3 8. 広報等配布物の取り扱いに関する意見・要望について	30～31

自治会長会議について

問 3 9. 自治会長会議の開催方法について	31～32
問 4 0. 自治会長会議の時間配分について	32～33

公共交通について

問 4 1. 自治会区域からのバス・鉄道の利用について	34
問 4 2. 予約型乗り合いタクシーについて	34

防災について

問 4 3. 自主防災組織について	35
問 4 4. 自主防災組織の結成予定について	35
問 4 5. 防災訓練について	36
問 4 6. 大雨災害時の活動について	36～37

- 問 4 7. 市のメール配信システムについて 37
- 問 4 8. 自治会区域内の危険な場所について 38～40
- 問 4 9. 自治会区域内での一時的な避難場所について 40

自治会を支援する制度について

- 問 5 0. 自治会振興交付金について 41
- 問 5 1. 自治会元気づくり応援補助制度の内容について 42
- 問 5 2. 自治会館建設費補助制度の認知度について 42
- 問 5 3. 自治会館建設費補助制度の内容について 43
- 問 5 4. 自治会コミュニティ再生応援事業の利用について 43～44
- 問 5 5. 新たに自治会を応援する支援制度等に関する意見・要望について . 44～45

自治会の特徴・魅力・課題などについて

- 問 5 6. 自治会のシンボル・資源・誇りについて 46～47
- 問 5 7. 自治会内の課題について 48
- 問 5 8. その他自治会に関する要望や意見などについて 49～50

平成26年度 自治会振興シート（基礎調査結果）

自治会加入の状況

調査年度	全世帯	自治会加入世帯	自治会非加入世帯	加入率
H26	13,326	10,581	2,745	79.4%
H23	13,387	10,896	2,491	81.4%

※「全世帯」は住民基本台帳による世帯数（平成26年9月30日現在）

全13,326世帯のうち、「自治会加入世帯」が10,581世帯、「加入率」は79.4%という結果になりました。平成23年度の前回調査より、加入率が2ポイント減少しており、より良い地域社会の形成を目指して、自治会への加入促進に努めていく必要があります。

自治会の構成

①班数

班数	自治会数	割合	H23
1～5班	103	54.2%	52.1%
6～10班	68	35.8%	38.0%
11～15班	13	6.8%	6.8%
16班以上	6	3.2%	3.1%
	190	100%	100%

自治会の構成は、「5班以下」で構成されている自治会が103自治会（54.2%）であることが分かりました。平成23年度に実施した前回調査から2.1ポイント増加しました。また、「6～10班」で構成される自治会数は68自治会（35.8%）で前回調査から2.2ポイント減少していることから、前回調査時は「6～10班」で構成されていた自治会が、「5班以下」の規模に縮小したことが伺えます。

②会員世帯数

会員世帯数	自治会数	割合	H23
1～50世帯	105	55.3%	54.7%
51～100世帯	61	32.1%	32.8%
101～150世帯	16	8.4%	8.3%
151～200世帯	5	2.6%	2.6%
200世帯以上	3	1.6%	1.6%
	190	100%	100%

会員世帯数は、「1～50世帯以下」の自治会が105自治会（55.3%）、「51～100世帯」の自治会が61自治会（32.1%）であることが分かりました。前回調査から大きな変化は見られませんでした。今後人口減少に伴い50世帯以下で構成される自治会が増えていくことが予想されます。

③会員数

会員数	自治会数	割合	H23
1～50人	32	16.8%	15.1%
51～100人	42	22.1%	22.9%
101～150人	33	17.4%	15.6%
151～200人	26	13.7%	13.0%
201～250人	20	10.5%	8.9%
251～300人	11	5.8%	6.8%
301～350人	6	3.2%	3.1%
351～400人	4	2.1%	2.6%
401人以上	8	4.2%	4.2%
未記入	8	4.2%	7.8%
	190	100%	100%

自治会員数は、「1～50人」が32自治会（16.8%）、「51～100人」が42自治会（22.1%）、「101～150人」が33自治会（17.4%）と150人までの比較的小規模な自治会が56.3%と過半数を占めています。

④65歳以上の高齢者世帯

65歳以上の高齢者世帯	自治会数	割合	H23
ある	179	94.2%	91.7%
未記入	11	5.8%	8.3%
	190	100%	100%

※高齢者世帯の合計 3,447世帯（各自治会が把握している世帯数）

自治会内に65歳以上の高齢者世帯があるかについては、179自治会（94.2%）があるとし、前回調査から僅かではありますが増加しました。

⑤ひとり暮らしの高齢者世帯

独居高齢者世帯	自治会数	割合	H23
ある	173	91.1%	91.7%
未記入	17	8.9%	8.3%
	190	100%	100%

※ひとり暮らしの高齢者世帯の合計 1,174世帯（各自治会が把握している世帯数）

自治会内に65歳以上の高齢者世帯があると答えた179自治会のうち、173自治会（90.5%）がひとり暮らしの高齢者世帯があるとなりました。また、ひとり暮らしの高齢者世帯の合計は1,174世帯でした。高齢化に伴い、今後も高齢者世帯及びひとり暮らしの高齢者世帯が増加することが予想されます。

自治会の組織体制の状況

組織体制	自治会数	割合	H23
青年会のある自治会	64	37.4%	42.5%
婦人会のある自治会	82	48.0%	62.1%
子供会のある自治会	123	71.9%	88.2%
老人クラブのある自治会	78	45.6%	63.4%
その他	16	9.4%	10.5%

※何らかの組織があると回答した自治会数 139 自治会

未回答の自治会もありましたが、組織体制についての回答があった 171 自治会のうち 139 自治会で子供会や婦人会、老人クラブなど何らかの組織があることが分かりました。前回調査と比較すると、全体的に減少していますが、特に婦人会と子供会の減少が著しく、婦人会の解散や少子化の影響が伺えます。組織数の減少はありますが、消防団や農事組合など、自治会内で様々な組織が活動しています。

会計年度

会計年度	自治会数	割合	H23
1月～12月	70	36.8%	35.4%
2月～1月	4	2.1%	2.1%
3月～2月	10	5.3%	4.2%
4月～3月	95	50.0%	51.6%
5月～4月	1	0.5%	0.5%
6月～5月	2	1.1%	1.0%
11月～10月	1	0.5%	0.5%
12月～11月	5	2.6%	2.6%
未記入	2	1.1%	2.1%
	190	100%	100%

会計年度は、「4月～3月」が最も多く 95 自治会（50.0%）を占めました。次いで「1月～12月」が 70 自治会（36.8%）であり、ほとんどの自治会が会計年度のスタートを 4 月か 1 月に設定していることが分かりました。

地縁団体認可状況

地縁団体認可状況	自治会数	割合	H23
有	64	33.7%	28.6%
無	126	66.3%	71.4%
計	190	100%	100%

認可地縁体として法人格を取得した自治会は、64自治会（33.7%）となっています。前回調査から9自治会增加しました。

所有財産

所有財産	自治会数	割合
有	66	34.7%
未記入	124	65.3%
	190	100%

※複数回答可

所有財産の管理状況（65自治会中）

財産管理状況(66自治会中)	自治会数	割合
宅地(会館用地含む)	62	93.9%
山林	26	39.4%
その他	20	30.3%

※割合は有ると回答した66自治会が基準。複数回答可

財産を所有していると回答した自治会は、66自治会（34.7%）でした。そのうち62自治会（93.9%）とほとんどの自治会が「宅地（会館用地含む）」を所有しており、その他には神社を所有している自治会もありました。

平成26年度 自治会振興シート（アンケート結果）

自治会長や役員についておたずねします。

問1 会長の年齢はいくつですか。

会長の年齢	自治会数	割合	H23
20歳代	2	1.1%	1.0%
30歳代	3	1.6%	2.1%
40歳代	1	0.5%	1.0%
50歳代	37	19.5%	19.8%
60歳代	105	55.3%	52.6%
70歳代以上	42	22.1%	22.4%
未記入	0	0.0%	1.0%
	190	100%	100%

自治会長の年齢については、「60歳代」が105自治会（55.3%）と過半数を占め、前回調査とほぼ同様の結果となりました。

問2 会長歴（通算）は何年ですか。

会長歴	自治会数	割合	H23
1年未満	44	23.2%	25.5%
1年以上3年未満	50	26.3%	26.6%
3年以上5年未満	42	22.1%	12.5%
5年以上10年未満	33	17.4%	23.4%
10年以上15年未満	14	7.4%	7.3%
15年以上20年未満	2	1.1%	1.6%
20年以上	2	1.1%	2.1%
未記入	3	1.6%	1.0%
	190	100%	100%

会長歴（通算）については、前回調査同様「3年未満」の会長が94自治会（49.5%）と半数近くを占めましたが、「3年以上5年未満」という会長が前回調査時から9.6ポイント増加しました。また、5年以上の会長歴の自治会長も51自治会と少なくありません。問5「会長の任期について」の結果では自治会長の任期は2年としている自治会が多いですが、任期を終えた後も、引き続き自治会長を務めている方が多いことが分かります。

問3 会長はどのように選任していますか。

会長の選任方法	自治会数	割合	H23
推薦	83	43.7%	46.5%
役員の中で互選	56	29.5%	29.0%
輪番制	15	7.9%	9.0%
選挙	25	13.2%	10.5%
抽選	1	0.5%	0.5%
その他	7	3.7%	4.5%
未記入	3	1.6%	
	190	100%	100%

会長の選任方法については、前回調査時と同様に、「推薦」が 83 自治会(43.7%)と最も多い選任方法でした。「その他」の中で多かったのは「総会で決める」という選任方法でした。

問4 会長や役員の交代を円滑に行うため、どのような工夫をしていますか。

※自由記載。回答の中から主なものを抜粋

その時の流で決める

6グループに分かれていてそのグループ内で順番に回す

事前に役員会で協議している

協議員9人選出後互選で三役決定、事前協議なし

役員改選後、役員の中で輪番を決定

総会当日、新旧班長(輪番制)10名で、選考委員会を設置して、選任して総会に諮る。会長はその役員の中で互選で決めている

三役会議で人選後、本人の了解を得、総会で選出

特に事前の人選協議等はない。会長が継続容易ならざる事態になり、後継者の急を要する場合以外は、総会により住民の意思により決定する

交代するにも交代する人員がない

総会時に決める

会長が次期以降お願いしたい人(数人)に直接交渉しているがなかなか応じてもらえず、困っている
仕事勤めの現役と引退者との年代の差が大きくて会長交代が思うようにできない。自分も副会長など役員を21年連続で務めている。

世代交代若い人との考え方にギャップがありすぎるので話し合う

会長や役員の交代を円滑に行うためにしている工夫については、回答のあった 138 自治会のうち、「事前に役員会で協議している」が 79 自治会と最も多く、その他に「輪番制」や「その場の流れ」、「会長が候補者に直接交渉」などがありました。

問5 会長の任期は何年ですか。

会長の任期	自治会数	割合	H23
1年未満	3	1.6%	0.5%
1年	28	14.7%	14.1%
2年	133	70.0%	68.2%
3年	11	5.8%	6.8%
4年	2	1.1%	1.1%
5年以上	1	0.5%	0.5%
決まっていない	12	6.3%	8.3%
未記入	0	0.0%	0.5%
	190	100%	100%

会長の任期については、前回調査と同様に「2年」が133自治会(70.0%)と最も多く、会長の任期は1年～2年としている自治会が190自治会中161自治会を占めました。しかし、問2の結果と照らし合わせると、規定された任期を終えても再度自治会長を務める方が多いことが分かります。

問6 役員会は1年間にどの程度の頻度で開催していますか。

役員会の頻度	自治会数	割合	H23
毎月	39	20.5%	22.9%
隔月	42	22.1%	17.7%
半年ごと	15	7.9%	
その他	71	37.4%	56.2%
未記入	23	12.1%	3.1%
	190	100%	100%

※その他の主な回答

毎月の他に緊急、災害、行事で10～15回位

必要に応じて

緊急時以外総会前に1回

随時不定期

特に決めていないが、祭り七夕の行事が多い夏場が多い

自治会行事の前

各事業に合わせて

1年間の役員会の頻度については、「毎月」が39自治会(20.5%)、「隔月」が42自治会(22.1%)でした。その他を選んだ自治会の中では、「不定期」、「行事など必要な時に集まる」という回答が多くありました。

問7 役員交代時に自治会業務の内容引継ぎを行っていますか。

役員交代時の引き継ぎについて	自治会数	割合	H23
行っている	113	59.5%	60.9%
十分ではないが行っている	61	32.1%	33.9%
全く行っていない	13	6.8%	4.2%
未記入	3	1.6%	1.0%
	190	100%	100%

役員交代時の引継ぎについては、「行っている」「十分ではないが行っている」という自治会が174自治会(91.6%)と、前回調査とほぼ同様の結果となりました。

問8 自治会業務の内容引継ぎはどのような形でされていますか。

引き継ぎの方法	自治会数	割合
マニュアル	25	13.2%
マニュアル以外の紙文書	55	28.9%
口頭	86	45.3%
データ	3	1.6%
その他	1	0.5%
未記入	20	10.5%
	190	100%

※自由記載欄。主な回答を抜粋

前回の引き継ぎ書に習い、役員が同席する中、書庫、文書、会計を話し合いで
 年末年始の総会にて業務内容の引き継ぎをしている
 会長交代時には新旧役員で資料などで行っている。それ以外は新役員だけで行っている
 業務を分散させる。又何でも会長の業務で案内が来るので副会長にバトンタッチし会長しか知らないこ
 とがないようにしたいと思っている。
 今までは何もし、今後はマニュアルを作りたい
 マニュアルがあったら参考にしたい
 会長と会計自治会業務が円滑に引き継がれるように。会長と副会長は1年ずらして改選
 PCに保存しているデータ等自治会則等使い引き継ぎを行っている
 重要書類の引き継ぎを受けた(会長)会計は担当者間で引き継ぎ班長は役員会を開催し課長及び会計
 職務を説明後各班ごとに必要資料を引き継ぎ
 口頭での引き継ぎのため内容漏れが多い
 代々引き継できた資料等のファイル

引き継ぎの方法については、「口頭」が86自治会(45.3%)と最も多く、その他に「マニュアル」や「マニュアル以外の紙文書」といった引き継ぎ方法がありました。自由記載欄では、「今後はマニュアルを作りたい」や「マニュアルがあったら参考にしたい」など、引き継ぎマニュアルを作成したいとする自治会が複数

ありました。また、最も多い引き継ぎ方法として挙げられていた「口頭」による引き継ぎについて、「内容漏れが多い」とする回答もありました。

問9 会長及び役員に対して報酬や謝礼を支出していますか。

報酬・謝礼の支出	自治会数	割合	H23
している	115	60.5%	70.3%
していない	67	35.3%	29.7%
未記入	8	4.2%	
	190	100%	100%

会長及び役員に対しての報酬や謝礼の支出については、115 自治会(60.5%)が「している」と回答し前回調査同様過半数の自治会で会長及び役員に対して報酬や謝礼を支払っていることが分かりました。

○自治会長

会長の金額	自治会数	割合
1 万円未満	15	13.0%
1 万円以上 10 万円未満	78	67.8%
10 万円以上 30 万円未満	18	15.7%
30 万円以上	4	3.5%
計	115	100%

○副会長

副会長の金額	自治会数	割合
1 万円未満	33	46.5%
1 万円以上 10 万円未満	35	49.3%
10 万円以上 30 万円未満	3	4.2%
30 万円以上	0	0.0%
計	71	100%

○会計

会計の金額	自治会数	割合
1 万円未満	30	32.3%
1 万円以上 10 万円未満	61	65.6%
10 万円以上 30 万円未満	1	1.1%
30 万円以上	1	1.1%
計	93	100%

○監査

監査の金額	自治会数	割合
1万円未満	23	74.2%
1万円以上 10万円未満	8	25.8%
10万円以上 30万円未満	0	0.0%
30万円以上	0	0.0%
計	31	100%

○班長

班長の金額	自治会数	割合
1万円未満	26	81.3%
1万円以上 10万円未満	6	18.8%
10万円以上 30万円未満	0	0.0%
30万円以上	0	0.0%
計	32	100%

○その他

その他の金額	自治会数	割合
1万円未満	14	31.1%
1万円以上 10万円未満	28	62.2%
10万円以上 30万円未満	2	4.4%
30万円以上	1	2.2%
計	45	100%

会長及び役員に支払っている謝礼、報酬の金額については、会長・副会長・会計の謝礼、報酬の金額は「1万円以上 10万円未満」としている自治会がそれぞれ最も多く、監査・班長の謝礼、報酬の金額は「1万円未満」がそれぞれ最も多いことが分かりました。

年会費についておたずねします。

問10 年会費を徴収していますか。

年会費の徴収	自治会数	割合	H23
している	178	93.7%	96.4%
していない	9	4.7%	3.1%
未記入	3	1.6%	0.5%
	190	100%	100%

年会費の徴収については、「している」とする自治会が 178 自治会(93.7%)という結果でした。前回調査同様、ほとんどの自治会で年会費を徴収しています。

年会費内訳	自治会数	割合	H23
500 円～1,000 円	4	2.1%	3.6%
1,001 円～5,000 円	16	8.4%	10.4%
5,001 円～10,000 円	72	37.9%	41.1%
10,001 円～20,000 円	75	39.5%	31.8%
20,001 円～50,000 円	12	6.3%	8.9%
未記入	11	5.8%	4.2%
	190	100%	100%

年会費の金額	自治会数
12,000 円	44
6,000 円	24
10,000 円	11
7,200 円	9
18,000 円	9
8,400 円	8
7,000 円	7
20,000 円	6
15,000 円	6
4,800 円	5

(回答が多い上位 10 位まで)

会費の内訳については、「5,001 円～10,000 円」が 72 自治会(37.9%)、「10,001 円～20,000 円」が 75 自治会(39.5%)とほぼ同数で、前回調査と同様の結果でした。年会費の金額で、回答数が最も多かったのは「12,000 円」で 44 自治会、次いで「6,000 円」が 24 自治会という結果でした。

問11 会員(一般世帯)の年会費について、減額している世帯はありますか。

自治会費減額	自治会数	割合	H23
あり	38	20.1%	20.3%
なし	142	75.1%	74.5%
未記入	9	4.8%	5.2%
	189	100%	100%

減額している場合、その理由

減額の理由	自治会数	割合	H23
高齢者夫婦の世帯	7	18.4%	14.6%
高齢者独居世帯	9	23.7%	31.3%
生活困窮	12	31.6%	29.2%
その他	10	26.3%	25.0%
	38	100%	100%

※その他。主な回答を抜粋

独居世帯で施設に入所した場合免除としている

借家住まいで自治会加入者

借家会員半額

年数回帰るが通常空き家状態

他地域居住者(部落に本家あり)生活保護者

村の事業に参加しない人

募金・特別寄付金等は、高齢者世帯高齢独居世帯免除世帯もある

会員(一般世帯)の年会費の減額については、38 自治会(20.1%)が「あり」、142 自治会(75.1%)が「なし」で、前回調査とほぼ同様の結果でした。減額の理由については「生活困窮」が12 自治会と最も多く、その他の理由として、「年数回帰るが空き家状態」の世帯や、「施設に入所している」世帯などがあり、今後人口減少や高齢化が進むことで、そのような会員世帯が増えることが予想されます。

問12 会費の徴収方法はどのようにしていますか。

会費の徴収方法	自治会数	割合
年1回まとめて徴収している	59	31.1%
月ごとに徴収している	57	30.0%
その他	50	26.3%
未記入	24	12.6%
	190	100%

※自由記載欄。主な回答を抜粋

数月分から1年分のまとめ払いもある

半年ごと

各自自由で期日は決めていない

年3回に分けて。2月7月12月

年1回払いは容易ではなくなってきており、分割も検討中です

班長が各戸をまわり月ごとに徴収

繰越金でまかなっている

3か月に1回

上半期、下半期で2回に分けている

会費の徴収方法については、「年1回まとめて」(59自治会、31.1%)や「月ごとに徴収」(57自治会、30%)といった方法の他、回数を決めて分割徴収としている自治会や、「各自自由で期日は決めていない」という自治会もありました。

会員名簿についておたずねします。

問13 会員名簿は作成していますか。

会員名簿を作成しているか	自治会数	割合	H23
はい	145	76.3%	79.2%
いいえ	44	23.2%	18.8%
未記入	1	0.5%	2.1%
	190	100%	100%

会員名簿を作成しているかについては、作成している自治会が 145 自治会 (76.3%) で、作成していない自治会が 44 自治会 (23.2%) と前回調査とほぼ同様の結果でした。

問14 会員名簿の更新時期は概ねいつごろですか。

名簿の更新時期	自治会数	割合	H23
1年更新	88	60.7%	50.7%
2年更新	25	17.2%	16.4%
3年更新	4	2.8%	4.6%
4年更新	1	0.7%	0.7%
5年更新以上	2	1.4%	1.3%
不定期	23	15.9%	24.3%
未記入	2	1.4%	2.0%
	145	100%	100%

会員名簿を作成していると回答した 145 自治会の会員名簿の更新時期については、「1年更新」とする自治会が 88 自治会 (60.7%) と最も多く、前回調査より約 10 ポイント増加する結果となりました。

問15 名簿はどのように作成していますか。

- 会員全員～総会で承認する
- 趣旨の理解を求め、全会員を提出依頼
- 元データを毎年加除して作成(特に同意は得ていない)
- 各班ごと申告制で各班長がとりまとめる。但し世帯主以外は人数のみ
- 毎年総会時に脱退変更などについて確認して作成している
- 会員のみで作成(主に世帯主名で)
- 死亡、転去、転入時変更(役員会で確認)
- 普段の付き合いで把握している
- 名前のみで世帯の内容はなし、年齢は以前配ったままで更新していない
- 現在すべての人の生年月日まで調べている
- 過去のものはあるが、転入者や新生者の情報がないので現在の用にはなしていない。

名簿をどのように作成しているかについては、「会員全員」を記載する自治会や「世帯主のみ」記載する自治会、名前だけでなく生年月日まで記載している自治会もありました。異動が多い自治会は総会などの機会に定期的に会員の異動について確認しているところが多くありました。また、普段の付き合いで会員の状況を把握しているという自治会もありました。

問16 名簿はどのような取扱いをしていますか。

名簿の取扱い	自治会数	割合	H23
会長のみ所持している	27	18.6%	25.0%
役員のみ配布している	31	21.4%	15.8%
加入世帯全戸に配布している	79	54.5%	53.3%
その他	8	5.5%	5.9%
	145	100%	100%

作成した会員名簿の取扱いについては、「加入世帯全戸に配布している」という自治会が 79 自治会 (54.5%) で最も多く、総会資料に入れて配布するなどしていることが分かりました。

自治会館についておたずねします。

問17 あなたの自治会に自治会館はありますか。

会館の有無	自治会数	割合	H23
ある	158	83.2%	81.8%
ない	32	16.8%	17.7%
未記入	0	0.0%	0.5%
	190	100%	100%

自治会館の有無については、「ある」自治会は 158 自治会(83.2%)、「ない」自治会は 32 自治会(16.8%)でした。

問18 自治会館の所有状況について該当する番号に○をつけてください。

会館の所有状況	自治会数	割合	H23
会館を所有している	127	80.4%	79.6%
他の自治会と共有している	5	3.2%	7.0%
市から借りている	14	8.9%	11.5%
市以外から借りている	2	1.3%	1.9%
その他	7	4.4%	
未記入	3	1.9%	
	158	100%	100%

自治会館の所有状況については、「会館を所有している」が127自治会(80.4%)と最も多い結果となりました。「その他」には、消防の番屋を会館として利用している自治会もありました。

問19 自治会館の建設時期はいつですか。

会館建設時期	自治会数	割合	H23
昭和10年以前	2	1.3%	1.9%
昭和11年～20年頃	5	3.2%	2.5%
昭和30～40年頃	27	17.1%	24.8%
昭和50～60年頃	49	31.0%	31.2%
平成元年～10年頃	30	19.0%	19.1%
平成11年～20年頃	18	11.4%	12.1%
平成21年以降	5	3.2%	
不明	4	2.5%	5.7%
未記入	18	11.4%	2.5%
	158	100%	100%

自治会館の建設時期については、「昭和50～60年頃」が49自治会(31.0%)と最も多く、築30年を超える会館を所有している自治会が80自治会以上あることが分かりました。中には昭和10年以前に建設された会館を使用している自治会もあり、自治会活動の拠点として、大切に会館を管理し使用していることが分かります。

問20 自治会館運営上の課題等について該当する番号に○をつけてください。

会館運営上の課題	自治会数	割合	H23
老朽化し建替えを検討	8	5.1%	8.0%
改修を検討している	28	17.7%	27.3%
備品等の買い替えを検討	24	15.2%	30.7%
維持管理費が負担になっている	35	22.2%	26.7%
その他	16	10.1%	7.3%
未記入	47	29.7%	
	158	100%	100%

※自由記載欄。主な回答を抜粋

3館の所有で、当時の使用内容、頻度が変化し、負担を感ずるようになってきている

老朽化しているが、建て替・改修する予算が不足している。壊れるとその部分だけ改修の状態

築21年でこれから老朽化が進んでいくと思うが、今年市の助成事業で屋根の塗装と外壁のコーキング補修・塗装の改修を計画している

現在は補修で維持しているが今後が心配である

トイレの改修を検討している。最近では男女別になっているため、その方向で検討

今のところなし

軒先が壊れているので直したい、補助金が全額出るのか？

建て替えたいが、予算が無く、2年前に市の補助金を利用して水回りだけ改修した。

何をどう揃えるか毎回役員会で検討している

自治会館運営上の課題については、「維持管理費が負担になっている」が 35 自治会(22.2%)、「改修を検討している」が 28 自治会(17.7%)、「備品等の買い替えを検討している」が 24 自治会(15.2%)となりました。改修等が必要な場合は、市民共動課の「自治会館建設事業費補助金」が利用できます。また、備品等の買い替えについては 100 万円から 250 万円までの会館備品の購入に充てることが出来る「コミュニティ推進事業費補助金」が利用できます。各補助金の利用には条件がありますが、まずは市民共動課までご相談ください。

問21 自治会館を所有していない自治会にお聞きします。

会館を所有していない	自治会数	割合	H23
現状のままで不満はない	24	75.0%	71.9%
会館を新築する予定である	0	0.0%	3.1%
会館建設を予定しているが時期は未定	1	3.1%	0.0%
その他	5	15.6%	25.0%
未記入	2	6.3%	
	32	100%	100%

会館を所有していない 32 自治会では、会館を所有していないことについて、前回調査同様に「現状のままで不満はない」とする自治会が最も多く、24 自治会(75.0%)でした。

自治会活動についておたずねします。

問22 自治会活動で現在行っている活動や負担が大きいと思っている活動、今後新たに
行いたい活動、他の自治会との連携について。

活動項目	①現在、継続して行っている活動			②今後、新たにやりたいと考えている活動	
		左の内、負担が 大きいと思ってい る活動	左の内、他の自 治会と連携して行 っている活動	単独で行いたい 活動	他の自治会と連 携して行いたい活 動
1.住民への連絡	168	3	2	1	0
2.市送付文書の回覧等	172	4	1	1	0
3.広報の配布	180	12	1	1	0
4.地域清掃(クリーンアップ)	164	7	12	2	0
5.道路の維持補修	85	13	1	2	1
6.公園草刈りや管理	104	8	5	1	1
7.農道・農地・農業用水路の管理	72	16	10	1	1
8.堰根上げ、河川敷地の草刈り	91	18	10	0	0
9.防犯活動(巡回活動)	32	0	2	10	2
10.防災活動	73	5	4	15	11
11.交通安全活動	82	1	3	3	6
12.花壇づくり	67	3	1	2	1
13.資源ごみの回収	67	3	4	1	0
14.独居老人の訪問	58	3	0	10	1
15.高齢者宅等の除雪	69	8	3	8	0
16.敬老会	94	3	5	4	1
17.運動会	79	9	14	2	1
18.スキー大会	25	9	10	0	1
19.祭り、伝統行事等	114	13	14	1	0
20.学習会等	31	1	2	5	0
21.葬儀手伝い	97	1	2	1	0
22.交流会	81	2	8	5	3
23.子供会	108	3	16	0	0
24.学校行事への参加	33	2	3	0	0
25.自治会報の発行	38	1	1	5	0
26.ホームページの開設	2	1	0	1	0
27.募金(戸別訪問)	107	18	0	0	0
28.行政機関への要望	109	2	8	3	1
29.コミュニティビジネス	2	2	0	4	1
30.その他	3	1	0	1	0

現在継続して行っている活動については、「住民への連絡」「市送付文書の回覧等」「広報の配布」「地域清掃(クリーンアップ)」「祭り、伝統行事」といった活動が多く自治会で継続して行われていることがわかりました。また、継続して行っている活動の中で負担が大きいと思っている活動は「募金(戸別訪問)」が最も多く、「道路の維持補修」「農道・農地・農業用水路の管理」「堰根上げ、河川敷の草刈り」など自治会の生活環境の維持の他、「広報の配布」「祭り、伝統行事」などの多くの自治会で行われているとされる活動も挙げられていました。

今後新たに行いたいと考えている活動については、「防災活動」や「独居老人の訪問」など、自治会の抱える防災力の強化や高齢化への対応といった課題の解決に向けた活動を行いたいとする自治会が多くみられました。特に「防災活動」については、他の自治会と連携して行いたいとする自治会が多いのが特徴的でした。

問23 自治会を運営する上でどのようなことに悩んでいますか。

(上位3つ選んでください。)

運営する上での悩み	自治会数	H23
役員のなり手がいない	107	105
役員の負担が大きい	70	73
役員が高齢化している	68	47
未加入世帯が多い	9	10
予算が少ない	33	32
特定の人しか参加しない	60	59
世代間の交流が難しい	34	44
会員が無関心で協力・参加が得にくい	27	31
活動するための情報が不足している	7	9
活動中の事故が心配	18	22
他の地域や自治会との連携が弱い	11	14
その他	7	9
未記入	15	20

※自由記載欄。主な回答を抜粋

会員の減少

高齢化により特定の(いつも決まった人)が役員等にならざるをえない。又、同じ自治会住民でありながら非協力的な人もおり、活動に支障をきたしている

地域内の少子高齢化。若い人の職業が各々に休日が異なり、土日とはかぎらないので事業実施の参加状況が課題

役員のなり手の問題1人1役が1人2役3役と役職を持つ方も増えている。

未加入世帯、同じ地域の中で他の自治会に加入している世帯があり、自主防災訓練、地域の清掃等、地域の協調性、連帯等が希薄だ

子供や若い人が少ない

アパート等に入居している方々にも加入してほしい

仕事が多忙を極め、自治会の活動自体行っていない

自治会を運営する上での悩みについては、「役員のなり手がいない」が 107 自治会で前回調査同様最も多く、次いで「役員の負担が大きい」が 70 自治会、「役員が高齢化している」が 68 自治会と、役員に関する悩みを抱えている自治会が多いことが分かります。特に役員の高齢化については前回調査よりも 21 自治会增加していて、自由記載欄では「若い人が少ない」、若い人がいても「休日が異なる」といった悩みがありました。また、自治会の運営や活動に「特定の人しか参加しない」や「世代間の交流が難しい」といった悩みも多くの自治会が挙げています。

問24 自治会活動において、親交やつながりの深い地区または自治会はありますか。

親交のある自治会	自治会数	割合	H23
はい	93	48.9%	49.5%
いいえ	79	41.6%	43.8%
未記入	18	9.5%	6.8%
	190	100%	100%

【八幡平地区】

回答自治会	交流のある自治会	活動や行事
水沢	谷内、永田、熊沢	水路管理(四か部落)、熊沢と合同運動会
熊沢	水沢	運動会、スキー大会
谷内	永田、熊沢、水沢	四カ部落協議会として財産の管理水路の管理を行っている。
長嶺	川部自治会	運動会、伝統行事(大日堂)
川部	長嶺	運動会、スキー大会
小豆沢	大里	
大里	小豆沢、玉内	小豆沢(水路、山林)、玉内(スポーツ行事、林道)
玉内	大里	運動会、スキー大会 etc の活動
長牛	夏井、桃枝、大久保一テレビ組合	養豚場公害対応要望を協同して実施
桃枝	長牛	市民運動会
三ヶ田	大久保、荒町	運動会、スキー大会、神社関連、水路等の管理、農道・林道等の管理
大久保	三ヶ田、荒町	林道、神社の維持管理、体協大会への協力参加
荒町	未記入	神社、林道、体協行事
黒沢	石鳥谷	運動会、スキー大会、駅伝、バレーボール
松館	石鳥谷、黒沢	協議会

【尾去沢地区】

回答自治会	交流のある自治会	活動や行事
尾去	西道口、下モ平、蟹沢	伝統行事
下モ平	蟹沢、西道口、尾去	祭典(八幡神社)、スポーツ(野球、グラウンドゴルフ)防災訓練
山方	軽井沢	運動会、スキー大会
新山	蟹沢	年に1度の下水あげ(消防団の協力)
中央通	瓜畑	子ども会の行事
軽井沢	山方	運動会、スキー大会等の参加
市街地	尾去沢地区自治会連絡協議会。 各々個々のつながりは特になし	市民センター協議会の事業
三ツ矢沢(下)	尾去沢三ツ矢沢中新田自治会	①クリーンアップ②交流会③敬老会④地区運動会
三ツ矢沢(上中)	下新田自治会	健康教室、敬老会、花見交流会
山神社	自治会連絡協議会	市民センター活動、行事

【十和田地区】

回答自治会	交流のある自治会	活動や行事
城ノ下	南、五軒町	
南	五軒町、城ノ下	大太鼓の練習は五城南として活動している
上町	中町町内会	防災活動・運動会
中町	上町、下町	運動会
下町	上町、中町	市民運動会合同チーム、しかしほとんど当町内 単独で実施
横丁	未記入	地域清掃(クリーンナップ)
土ヶ久保	中野	運動会、堰根上げ
中野	土ヶ久保、蟹沢、関上、大川原	一定の時期に上に同じ(一年通じてではなく)
蟹沢	中野、土ヶ久保、関上、三ノ丸	水路関係、運動会(三ノ丸)
瀬田石	毛馬内地域の自治会	
石野	大欠・松山・土深井	消防・基盤整備事業・自治会交流
高清水	山根地区	運動会
下芦名沢	上芦名沢、長者久保、高清水	草刈り作業他
上芦名沢	下芦名沢	運動会、道路草刈り
三の丸	蟹沢自治会	市民運動会
関上	大川原、中野	水利、清掃
松ノ木	神田・沢尻・冠曲	堰根上げ
沢尻	松ノ木	
錦丁	錦木地区(錦木を考える会)	
根市戸	浜田	運動会、堰上げ

神田	錦木地区	錦木塚まつり
松山	土深井、大欠、石野	末広小学校との合同運動会、役員交流会等
大欠	松山・土深井・石野	役員交流会、末広小学校行事
堀内	四の岱、白山	学校関係、交通関係
荒瀬	中岱町内会	会館運営、子供会
中岱	荒瀬町内会	自治会館の維持管理、子供会の行事
丁内	下の湯、川原の湯自治会	観桜会、下三町演芸大会
下ノ湯	川原ノ湯、丁内町内会	下三町演芸大会
川原ノ湯	下の湯町内会、丁内町内会	下三町祭典
宮野平	未記入	6月の虫送り4月のクリーンアップ2月のオジナオバナ
中草木	二本柳、下草木、丸館、新田	
丸館	下草木	

【花輪地区】

回答自治会	交流のある自治会	活動や行事
荒屋敷	館盆坂自治会	子ども会
沢口一区	館盆坂・馬場・荒屋敷・上野	
館盆坂	沢口一区、荒屋敷	
新田町	新田町農家自治会	祭り
新田町三区	新田町とは比較的近い関係	
舟場町	舟場三区自治会	地藏尊祭典
舟場三区	舟場町、文化、新田町	舟場町
文化	舟場元町	
谷地田町二区	谷地田町一区、坂ノ上	祭典等
大町	新町	
新町	下堰向、横町袋丁 (民生委員の活動範囲だが、活動していないため心配)	花輪の祭りのとき
横町袋丁	新町	子ども会花輪ばやし
組丁	沢小路、横丁	町踊り、河川・用水路の…
上堰向	上旭町自治会	会館や備品を行事の時に借用している。
下堰向	新町自治会	祭典への参加他
旭町一区	旭町二区自治会	清掃(道路、神社)花壇、除雪(交差点)、年2回の日帰り旅行
旭町二区	旭町一区、旭町三区	花壇づくり、クリーンアップ、神社の管理(清掃、雪下ろし)、除雪、市への要望
旭町三区	1区、2区	自治会活動全般

沢小路	川原町、横丁、横町、組丁、下堰自治会	夏休み子供会行事
東山	東山住宅、案内、古館	合同懇談会、福祉施設との防災協力
東山住宅	東山自治会、案内自治会、古館自治会	親睦会、共通の道路維持
小坂一区	小坂3地区自治会 (三位一体自治会)	定期共同事業(道路側溝清掃、3地区合同運動会等)組織体制「小坂(婦人会・子供会・健生会・老人会)若者会」
小坂二区	小坂一区自治会 小坂三区自治会	合同で自治会館使用 子供会、青年会、婦人会、老人会は3地区合同 運動会、祭典、どんと祭り会館管理等
小坂三区	小坂一区小坂二区	祭典、運動会、どんと祭り、堰上げ、市のクリーンアップ
古館	東山、東山団地、案内	連絡会
案内	東山自治会、東山住宅自治会、古館自治会	年一度交流会
鏡田	小深田自治会	山作業
用野目	鏡田・狐平・下川原・高屋・花軒田・曲沢	
下川原	下花輪七ヶ部落連絡協議会、鏡田、用野目、狐平、高屋、花軒田、曲沢	地域の課題解決等
高屋	下川原を含む7カ部落	農業委員土地改良区役員等の調整
花軒田	7カ部落連絡協議会	
曲沢	花軒田自治会	
鶴田	上台、長野、高市	主に水、豊作の神社である上台発電所の上、山にある御嶽神社の参拝
西町	東町	神社参道の草刈
小平	新斗米	
高市	高市・上台	
長野	上台、高市、鶴田	間瀬川流域水源管理
上台	長野、高市、鶴田	
寺坂	館、小枝指、級ノ木、小平、新斗米、菩堤野	コミュニティ活動
小枝指	館	5月5日の神社の祭り
館	平元地区	平元コミュニティ推進委員会(クリーンアップ、運動会、夏祭り、推進大会)
級ノ木	平元地区の自治会	平元コミュニティの事業、堰上げ

親交のある自治会の有無については、あるという自治会が93自治会(48.9%)、ないという自治会が79自治会(41.6%)でした。前回調査から大きな変化はなく、新たに連携するよりも、今までの親交やつながりを継続していることがうかがえます。親交のある自治会と行っている活動や行事については、クリーンアップや草刈り、水路の管理などの環境整備活動や、運動会やスキー大会などのスポーツ関連行事、祭りなどを連携して行っている自治会が多くみられました。問22の結果から、今後は防災活動を連携して取り組む自治会が増えてくる可能性があると言えます。

問25 自治会活動において、課題を解決するために必要なことは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)

課題解決のために必要なこと	自治会数	H23
普段の付き合い	137	144
活動や趣味のグループづくり	44	35
祭りや行事の実施と参加	86	89
地域住民が地域の課題に関心を持つこと	103	119
会の情報を提供、共有すること	41	56
会の意思決定など、組織の運営を工夫すること	32	49
リーダーを育成すること	64	63
若い世代の参加	95	102
自治会の統廃合等の再編成	10	12
民生委員やPTA等、他の組織との連携	34	38
その他	0	4
未記入	17	13

自治会活動において、課題解決のために必要なことについては、前回調査同様「普段の付き合い」(137自治会)が最も多くの自治会から挙げられていました。他にも「地域住民が地域の課題に関心を持つこと」(103自治会)、「若い世代の参加」(95自治会)、「祭りや行事の実施と参加」(86自治会)など多くの自治会から挙げられていました。

問26 自治会の合併についてどう思いますか。

自治会の合併について	自治会数	割合
必要だと思う	13	6.8%
必要だと思わない	75	39.5%
今は必要ないがいずれは必要かもしれない	89	46.8%
その他	4	2.1%
未記入	9	4.7%
	190	100%

自治会の合併については、「必要だと思う」が13自治会(6.8%)に対し、「必要だと思わない」が75自治会(39.5%)、「今は必要ないがいずれは必要かもしれない」が89自治会(46.8%)でした。会員世帯数が少

ないところや、高齢者の割合が高い自治会では合併について「必要だと思う」や「いずれは必要かもしれない」というところが多くみられました。「その他」では、できるだけ今の自治会で活動して行きたいという回答が見られました。

鹿角市の自治会数は、前回調査時は192自治会ありましたが、会員数の減少を主な理由として平成26年9月末現在で190自治会に減少しています。今回の調査では合併を「必要だと思う」とする自治会が13自治会あることから、今後、人口減少や高齢化の進行に伴い、自治会の合併が増えるかもしれません。

自治会への加入についておたずねします。

問27 自治会の加入率は概ねどのくらいですか。

自治会加入率	自治会数	割合	H23
全戸加入している	103	54.2%	56.8%
90%程度	54	28.4%	28.6%
90%未満～80%以上	14	7.4%	7.8%
80%未満～50%以上	14	7.4%	6.3%
50%未満	0	0.0%	0.5%
未記入	5	2.6%	
	190	100%	100%

自治会の加入率については、前回調査同様、全戸加入～90%程度の自治会が157自治会(82.6%)と大半を占め、概ね高い加入率を保っている事が分かりました。

問28 自治会区域内に居住していない会員はいますか。(引越し等で居住区域が変わっても、自治会内に引き続き会員として加入されている方など)

自治会区域内にいない会員	自治会数	割合	H23
はい	73	38.4%	32.3%
いいえ	109	57.4%	66.7%
未記入	8	4.2%	1.0%
	190	100%	100%

自治会区域内にいない会員の有無については、73自治会(38.4%)が「いる」とし、前回調査よりも6.1ポイント増加しました。

問29 加入促進のためにどのようなことに取り組んでいますか。

加入促進の取組	自治会数	割合	H23
自治会で作成したポスターやチラシを配布するなど啓発に努めている	7	3.7%	3.6%
戸別訪問して加入を呼びかけている	33	17.4%	24.0%
特に何もしていない	112	58.9%	53.1%
その他	4	2.1%	1.6%
未記入	34	17.9%	17.7%
	190	100%	100%

※自由記載欄

全世帯が加入しています

自治会定例総会出席の促進(自治会行事等の参加)

自治会加入のメリットがなくなってきているように思う。町内会に加入していない世帯のゴミ収集箱の使用を禁止、又は規制したいが、法的に可能でしょうか

転入者への呼び掛け、アパート等一時的に居住する人たちはなかなか把握できない。それ以外はほぼ加入

村にいる限りは絶対必要たとえばゴミ箱利用で必要

1~2回は加入を呼び掛けそれ以降無。自治会が重要視されている。市の条例で全世帯に加入義務を。会員をやめたい人にはやめないよう説得している。一人暮らしの人や高齢の人

広報を毎月届けています

借家・アパートの大家との関係

自治会加入のメリット、デメリットの説明が難しい

自治会だより毎月発行、配布(全世帯)

年1~2回程度の集合写真氏名スローガン入り・自治会員名簿・通常総会資料・会費関係

自治会加入しなくても普通の生活に困らないとの理由で退会する人が出ている

未加入者はそれぞれ特別な感情の持ち主で加入を了解させることができない

生活が苦しく入れないといわれてからはやっていない広報等は配布している。さらにアパートの住民にも自治会未加入だが広報等は配布している。

加入希望者には自治会の現状をパンフで説明している

加入促進の取組については、前回調査同様112自治会(58.9%)と多くの自治会が「特に何もしていない」と回答していました。一方で加入促進のために工夫している自治会もありましたが、アパート等集合住宅がある自治会では、集合住宅に住む住民の自治会未加入について悩んでいる自治会が多く見受けられました。

自治会の連合組織についておたずねします。

問30 あなたの自治会は地区連合組織(自治会の連合体のこと)に加入していますか。

地区連合組織	自治会数	割合	H23
加入している	80	42.1%	49.5%
加入していない	72	37.9%	33.9%
加入を検討している	1	0.5%	0.5%
組織がない	14	7.4%	7.8%
未記入	23	12.1%	8.3%
	190	100%	100%

地区連合組織への加入については、「加入している」が 80 自治会(42.1%)、「加入していない」が 72 自治会(37.9%)、前回調査とほぼ同じ結果になりました。地区連合組織自体の増減はあまりないものの、継続して連携した活動をしていることが分かります。

問31 地区連合組織は必要だと思いますか。

地区連合組織	自治会数	割合	H23
必要である	93	48.9%	64.1%
必要でない	58	30.5%	21.9%
わからない	1	0.5%	
未記入	38	20.0%	14.1%
	190	100%	100%

地区連合組織の必要性については、問30で「加入している」とする80自治会以上の93自治会(48.9%)が「必要である」とし、「必要でない」とする58自治会(30.5%)を上回ったことから、現在地区連合組織に未加入の自治会でも地区連合組織を重要視していることが分かりました。

問32 地区連合組織の役割について、どのように考えていますか。

連合組織の役割	自治会数
行政への要望書提出	59
行政から自治会への各種依頼、事業協力の調整	14
自治会相互の連携事業や連絡調整	23
単位自治会と活動内容が重複している	2
加入していないのでわからない	51
その他	4
未記入	37
	190

地区連合組織の役割については、「行政への要望書提出」が 59 自治会で最も多く、他には「自治会相互の連携事業や連絡調整」(23 自治会)や「行政から自治会への各種依頼、事業協力の調整」(14 自治会)がありました。

地域づくり協議会等についておたずねします。

問33 市内4地区の地域づくり協議会等により市民センターが運営されていますが、昨年1年間にあなたの自治会は市民センター事業に参加したことはありますか。

センター行事への参加	自治会数	割合	H23
ある	86	45.3%	54.7%
ない	93	48.9%	44.3%
未記入	11	5.8%	1.0%
	190	100%	100%

昨年1年間の市民センター行事への参加については、86自治会(45.3%)が「ある」、93自治会(48.9%)が「ない」と回答し、前回調査から参加したことがある自治会の割合が9.4ポイント減少しました。

参加した事業

参加行事	自治会数	割合	割合
市民運動会	71	84.0%	72.4%
市民スキー大会	28	32.1%	16.3%
子供会行事	49	56.8%	31.2%
その他	26	29.6%	14.9%

※その他。主な回答を抜粋

視察研修

文化祭、スポーツ大会

ほとんど全部

祭典など

春のクリーンアップ

錦木塚まつり、観光カルタ

錦木塚伝説ウォーキング

植樹会

地域観光再発見事業

チャレンジデー

ワイワイランチ

少子高齢化の自治会事業に対応していない。他事業を考えるべき。参加率20%以下であれば中止にすべきだ

参加したことがあると回答した86自治会が参加した市民センター行事については、市民運動会が71自治会(84.0%)と最も多いことが分かりました。その他には、「ほとんど全部」参加しているとする自治会もありましたが、「少子高齢化している自治会の現状に合っておらず、改善すべきだ」とする自治会もありました。

問34 地域づくり協議会にどのようなことを期待しますか。

地域づくり協議会に期待すること	自治会数
自治会活動の支援	59
自治会向けの講座の開催	23
このままでよい	70
その他	11
未記入	31

※その他。主な回答を抜粋

多く市民が楽しく参加できる事業・活動

あまり期待していない

わからない

今の協議会はサークル協議会で自治会のことは考えていないのではないか

会員の高齢化により参加不能

子供も減り、市民運動会もやめた。講座は教育委員会の出前講座を利用。

花輪地区自治会長会議の開催自治会中心の地域づくり

幸齢者・(高齢者)対象パソコン講座

市民センター事業総会に参加するだけ

地域づくり協議会に期待することについては、「自治会活動の支援」が 59 自治会、「自治会向けの講座の開催」が 23 自治会ある一方で、「このままでよい」とする自治会も 70 自治会ありました。その他の回答の中には、会員の減少や高齢化により事業に参加できないとする自治会もあり、地域の実情に合わせた事業の展開が求められていることが分かりました。

広報等配布物の配布状況や取扱いについておたずねします。

問35 広報等の配布物はどの範囲まで配布していますか。

広報配布範囲	自治会数	割合	H23
自治会加入世帯のみ	125	65.1%	67.7%
自治会未加入世帯にも	53	27.6%	31.3%
その他	6	3.1%	0.5%
未記入	8	4.2%	0.5%
	192	100%	100%

広報等の配布範囲については、「自治会加入世帯のみ」が 125 自治会 (65.1%)、「自治会未加入世帯にも」が 53 自治会 (27.6%)と前回調査とほぼ同様の結果となりました。

問36 広報等の配布物はどのようにして配布していますか。

配布方法	自治会数	割合
自治会長または配布担当員が仕分けして配布	48	25.3%
自治会長又は配布担当員が仕分けして班長等が配布	125	65.8%
会館等に設置し、会員が各自取りに来る	0	0.0%
その他	11	5.8%
未記入	6	3.2%
	190	100%

広報等の配布物の配布方法については、「自治会長又は配布担当員が仕分けして班長等が配布」が125自治会(65.8%)と最も多く、「自治会長または配布担当員が仕分けして配布」の48自治会(25.3%)を上回りました。

問37 広報以外の配布物(チラシなど)についてどう思いますか。

チラシ等について	自治会数	割合
これまで通りでよい	59	30.4%
減らしてほしい	80	41.2%
広報に全てまとめてほしい	44	22.7%
その他	3	1.5%
未記入	8	4.1%
	194	100%

広報以外の配布物(チラシなど)については、「これまで通りでよい」とする自治会が59自治会(30.4%)ある一方で、「減らしてほしい」が80自治会(41.2%)、「広報に全てまとめてほしい」が44自治会(22.7%)と、広報以外の配布物(チラシなど)の量に不満を持っている自治会が多いことがわかりました。問36の結果から、広報等配布物の仕分けは自治会長や配布担当員が行っている自治会が多く、自治会長や配布担当員に負担がかかっている事から、配布物の量や、配布方法について改善する必要があると考えられます。

問38 広報等配布物の取扱いについて意見・要望などありましたらご記入下さい。

配布物が多すぎる

 先般の自治会長会議にて指定不用品収集について、広報以外のチラシがなかったとの件について一言。我が自治会では以前から市からのチラシは配布しないで一週前ぐらいに自治会独自の分かりやすいチラシを配布し、当日は6時～8時まで収集立ちあい人を置いて残り物のないようにしています。

 配布物部数が足りない月が数回あり困る。多い時に5部強も足りない。(書いてある部数が入っていない)

 情報取得困難な世帯もあるので、きめ細かく知らせてほしい

 何でも自治会で配布はおかしい。各団体でもっと配布すべきである

班長等が何回も足を運んでも不在だったり、置き場所に困るところがある。そういう時は自分で取りに来るくらいの策がないかと思う時がある

①高級紙質のチラシ(補助金?事業費?)多すぎる=重い②不必要と思われる内容のチラシが多い(全世帯への配布が必要か)③新聞折り込みにすべきものもある。全体としてチラシを減らされたい。

年度初めに枚数が多く、かなりの負担である

回覧について、回覧と表示してほしい

自分で仕分けていますが、私自身実際に見ているチラシは数少ない。人によっては不要なチラシが多すぎるのでは

右とじ、左とじが混在しており、ファイルしにくい統一してほしい

配布枚数を正確にお願いしたい最近は正確です

配布の助成金を助成金をいただいているが未加入者には自治会で配布したくない。未加入のデメリットがない。

広報とダブっている項目(ちらし、回覧)が気になる。改善してほしい。

アンケート調査は直接本人に郵送してほしい

農家が1件もないのに農業関係の書類を配布する必要があるだろうか?

チラシ等減らしてほしい。項目ごとに字を大きくしてほしい。小さいと見ないで捨てている。

広報は毎月1日発行となっているので、自治会員には1日に届くようにしたい。そのために2日前には市から届けてくださるよう配慮願いたい

去年の秋ごろから部数か1枚もない。1部位の余裕がほしい

アパート等に表札がないので困る

配布物のサイズを統一してほしい

広報等配布物については、様々な意見がありました。複数見られた意見は「広報以外の配布物が多い」、「配布部数の間違いをなくしてほしい」、「綴じ方を統一してほしい」、「回覧は回覧と表示してほしい」などでした。

自治会長会議についておたずねします。

問39 自治会長会議は平成20年度まで市内4地区で開催していましたが、現在は交流センターで開催しています。開催方法について該当する番号に○をつけてください。

自治会長会議	自治会数	割合	H23
4地区ごとの開催	96	50.5%	40.6%
現在の合同開催	77	40.5%	50.5%
未記入	17	8.9%	8.9%
	190	100%	100%

※自由記載欄。主な回答を抜粋

研修であれば一ヶ所でもよいが、会議は地区色もあり、4地区あるいは北、南などがよい
出席者が多いこともあり、活発な意見などが少ない気がする。また、他者を気にして、要望・意見など、
当局にうまく伝達できない！！
進行係の人がもう少しスムーズに事を運んでほしい
発言が同一人物になりやすい。1人1問で良いのでは
他地域の活動等勉強になる
意見交換時のマイク、音響を考えてほしい。
必要ない。書類配布でいい。
資料の事前配布をよろしく。地区ごとの質問事項の発表をしてほしい。年間の解決策の公表もほしい
地区ごとのほうが参加しやすいし、共通した課題も出てくるのでは。
交流センターで開催しても、地区単位で意見交換が必要。意見質問は限られた人である。(小グループの交換が必要)
質問・意見・要望等大勢では、緊張する。親しい雰囲気意見交換がらみの会議を要望します。
質問は前もって収集し、会長に周知し、それ以外を会場で受ける。ダラダラ諄い質問時間は無駄
出席したことがないのでわからない

自治会長会議の開催方法については、「4地区ごとの開催」が96自治(50.5%)と、「現在の合同開催」(77自治会、40.5%)を10ポイント上回りました。4地区ごとの開催を希望する理由としては、「地域ごとの特色がある」や、「共通した課題が見えやすい」、「参加人数が多すぎて発言ができない」などが挙げられていました。また、合同開催については「地区単位で意見交換が必要」や「同一人物のみの発言になりやすく、1人1問で良いのでは」といった、市との意見交換でもっと幅広く意見を出せるようにすべきという意見も複数ありました。

問40 自治会長会議の時間配分についてどう思いますか。(複数回答)

自治会長会議の時間配分	自治会数	割合
ちょうど良い	102	52.8%
もっと市からの説明を充実させてほしい	33	17.1%
もっと意見交換の時間を充実させてほしい	27	14.0%
その他	5	2.6%
未記入	26	13.5%
	193	100%

※その他。主な回答を抜粋

司会進行を双方で出してはどうか
会議資料の説明が多すぎ、各自治体の問題等協議できれば良い
個別自治会の事情苦情を述べるのではなく、共通テーマで意見交換する内容に誘導すべき
夜間より昼間の時間にしてほしい。(夜は危険)
わからない

発言者がいつも同じ

説明を簡潔に、自治会長の意見を聴く会にしてほしい

自治会長会議の時間配分については、「ちょうど良い」が 102 自治会 (52.8%) と過半数を占めましたが、一方で「もっと市からの説明を充実させてほしい」が 33 自治会、「もっと意見交換の時間を充実させてほしい」が 27 自治会ありました。

公共交通についておたずねします。

問41 自治会内から、通院や買い物のためにバスまたは鉄道を利用して移動しようとした場合、不便な状況にあると感じますか。

公共交通について	自治会数	割合
不便だと感じる	82	43.2%
それほど不便ではない	91	47.9%
未記入	17	8.9%
	190	100%

公共交通が不便と思うかについては、「それほど不便ではない」が 91 自治会 (47.9%)、「不便だと感じる」が 82 自治会 (43.2%) という結果になりました。また、「不便だと感じる」理由については、「便数が少ない」(37 自治会)、「路線が足りない」(12 自治会)、「最寄りのバス停・駅までの距離が遠い」(9 自治会) などがありました。

問42 自治会内から主要な商店や病院まで、タクシーに乗り合う方法(=予約型乗り合いタクシー)による移動手段の確保策が必要とされますか。

乗合タクシーについて	自治会数	割合
今すぐ必要	9	4.7%
将来的に必要	57	30.0%
あれば便利	82	43.2%
必要ない	33	17.4%
その他	0	0.0%
未記入	9	4.7%
	190	100%

乗合タクシーについては、「将来的に必要」(57 自治会、30.0%) や「あれば便利」(82 自治会、43.2%) とする自治会が多く、「今すぐ必要」という自治会は 9 自治会(4.7%)に止まりました。

防災についておたずねします。

問43 あなたの自治会では自主防災組織を結成していますか。

自主防災組織	自治会数	割合	H23
結成している	81	42.6%	33.9%
結成していない	101	53.2%	65.6%
未記入	8	4.2%	0.5%
	190	100%	100%

自主防災組織の結成については、「結成している」が 81 自治会(42.6%)、「結成していない」が 101 自治会(51.6%)でした。未記入が 8 自治会ありますが自主防災組織結成数は前回調査よりも増加しています。

問44 今後、自主防災組織を結成する予定はありますか。

自主防災組織の結成予定	自治会数	H23
予定している	19	30
予定していない	74	91
未記入	7	5
	100	126

※予定していない理由。主な回答を抜粋

高齢化が進んでおり、若い人が日中不在だが近い将来、いつかは結成したいと考えている
時間がない

高齢者世帯のため※災害時要援護者避難支援組織づくりを実施します

準防災組織は有る

あまり災害がないので無関心

自治会存続の危機

昨年度総会にて反対意見有り

組織はないが日頃の安否確認を心がけている。

消防団員が多いことと自治会役員との連携をしているから

今後自主防災組織の結成を予定しているかについては、「予定している」が 19 自治会、「予定していない」が 74 自治会ありました。自主防災組織の結成支援が平成 25 年度を持って終了したことから、今後結成数の増加は緩やかになることが予想されますが、近年大雨等による災害が多数発生しており、自治会における災害対応の体制づくりの重要性はますます高まることが考えられます。

問45 自治会または自主防災組織で防災訓練を実施していますか。

防災訓練の実施	自治会数	割合	H23
実施している	64	33.7%	28.6%
実施していない	105	55.3%	58.3%
未記入	21	11.1%	13.0%
	190	100%	100%

自治会又は自主防災組織での防災訓練の実施については、64 自治会が実施している一方、過半数の105 自治会は「実施していない」と回答しました。

問46 平成25年8月9日、9月16日の大雨災害の際、自治会または自主防災組織で活動しましたか

※H23 は東日本大震災時の活動についての数値

大雨災害時の活動	自治会数	割合	H23
活動した	88	46.3%	28.6%
活動していない	87	45.8%	58.3%
未記入	15	7.9%	13.0%
	190	100%	100%

※具体的な活動内容。主な回答を抜粋

高齢者宅の安否確認

生活道路の確認、復旧

冠水地域の手伝い

会長が巡回して急傾斜地域の人への呼びかけ

被害状況の調査と復旧作業をした。水路・農道・道路法くずれ等

河川内に取り残された人の救助をしたり、用水の状況を巡回して災害状況を確認した。次の日に重機を手配して災害復旧の作業を行った。

自治会役員、近隣の人、婦人防火クラブ出動、土のう積み、ドロよせ

一人住まい高齢者を指定避難所送迎

8月9日の際避難準備9月16日は指示が出て十和田市民センターに避難自主防災組織はあるが、仕事で不在の役員もあり、集まった役員に協力してもらった

役員が会館に集まり市役所や天気状況をチェックしどうするか相談した

番屋を開放し、避難所とした。非常食の提供。安否確認、避難の呼び掛け

被災者宅への手助け、状況安否確認はもちろん、対策本部を作り対応した。

道路がすべて通れなかった。トラクター等で道路を開通したりした

後で聞く話の中では個々に行動はしたようですが、まとまったの行動はしていない。

平成25年の8月、9月の大雨災害時の活動については、「活動した」が88自治会(46.3%)、「活動していない」が87自治会(45.8%)ありました。具体的な活動内容については、「危険箇所や被害状況の見回り」や「高齢者の安否確認」、「被災箇所の復旧作業」の他、「河川に取り残された人の救助」や「道路の開通作

業」など幅広い活動をしていたことが分かりました。前回調査の際は、東日本大震災時の活動についてでしたが、今回の調査では「活動した」自治会の割合は 17.7 ポイント上昇し、自治会の防災意識の高まりと災害に対応する体制作りが整ってきていることが分かります。

問47 市では、気象情報や避難情報をより素早くできるだけ多くの方へ発信するため、メール配信システムを整備しております。各自治会への連絡手段として効果的であると考えておりますが、携帯電話メールアドレスの登録についてどのようにお考えですか。

情報メール	自治会数	割合	H23
すでに登録済み	125	65.8%	7.8%
今後登録したい	43	22.6%	70.3%
登録は難しい	6	3.2%	14.1%
未記入	16	8.4%	7.8%
	190	100%	100%

※自由記載欄。主な回答を抜粋

個人へのPRをしているが、確認はなし。若い人は別として高齢者や一人暮らしなどメールアドレスの使用に不慣れの為、別の手段も検討されたい

各戸の判断にまかせている。私(会長)は携帯不所持

携帯電話の持っていない人はどうなるのか？

携帯電話を普段持ち歩かない

消防署から無駄なメールがある。なんでもなかったらメールしないでもらいたい。

必要でないメールが多いと聞く

個人と消防団員がメール情報を受けていると思うので、その対応をしたい。

登録済みだが、不要な情報が多く、戸惑う

役員全員が登録したい

重要なことだけにしてほしい

登録済み以外に特に防災情報担当者をお願いしている

以前登録していたが、情報過多だった。火災情報等現場から離れた地域では意味なし

市の情報メール配信システムへのアドレスの登録については、「すでに登録済み」が 125 自治会 (65.8%)と前回調査から大きく増加しました。多くの自治会に素早く様々な情報を発信できる情報メールですが、「不要な情報が多く戸惑う」や「必要でないメールが多い」等の意見がありました。市の情報メール配信システムは、必要な情報だけを受信できるよう設定することも可能ですので、設定方法が分からない場合は市の総務課危機管理室まで問い合わせください。

問48 自治会区域内で、特に危険(危険箇所・災害など)と感じる場所がありますか。

危険箇所	自治会数	割合	H23
ある	98	51.6%	41.7%
ない	76	40.0%	52.1%
未記入	16	8.4%	6.3%
	190	100%	100%

※ある場合の具体的な場所

R341号線平地内に危険箇所あり

災害時橋を通過して国道に出なければならず、大変

熊沢川添の集落のため

集落に入る沢が大きく2本有り。土石流危険渓流。25年11月奥杉谷倉沢堰堤下から2番目が突然水抜きより土砂と共に流出。約20分程熊沢川まで多量の水、土砂が流れる。上の方の(萱町)堰堤は土砂が堆積して、増水の際そのまま下流の圃場水路に流れ、土砂の堆積の原因となっており、早急に対策が必要。

山崩れ等

小豆沢碓地内の山

坂元の法面

急傾斜地、沼、土砂くずれ

字タタラ地内住宅裏側山の斜面、普段ない水が流れて出てきた(昨年)市担当確認済み

岩崎の水門の開閉を行う箇所(増水時に水門の開閉を行う為、昨年水門を開けている最中に増水し渡れなくなって河川内に取り残されました。橋等の設置が必要と感じました。

農業用ため池3ヶ所、低い宅地(床下、上のしんすい)3ヶ所

大雨と米代川増水での危険カ所数カ所あり

山根地区の土砂災害、排水溝のつまり、地域全体の排水溝の老化、破損

調査したいと思っている

崩れている箇所が少しずつあるように思う

全体的に坂、斜面多く不安です

自治会内両側急傾斜地、新堀の地すべり地についての情報なし→現在の情報把握しているのでしょうか

花輪方面から尾去沢小学校へ行く途中、鋭角に曲がった左側の斜面2年連続でくずれている。又、昨年の下水管破損時発生した斜面の穴もそのまま連絡なし

ゲートボール場の上の坂になっているところ。8月9日の雨で何箇所か崩れた

急傾斜地、ガソリンスタンド、避難所までに上記の場所を通過するため

十和田タクシーの前の水路がつまり、店舗内に無図が入ってきた。8月の大雨と冬1、2月雪づまりで町内にある神社が老朽化、高台にあるが、年々敷地が崩れてきている

土砂崩れがしやすい場所が多いです

1人暮らし高齢者宅が高台にある

自治会区域全体が杉林に囲まれていて、崩落するか心配。米代川の合流点(小坂・大湯・花輪)でも

あるので堤防の嵩上げ工事を要望したが、できなかった。

地域全体が危険区域なので標示等が難しい

会館裏の排水路の法面、去年被災し、まだ着工していない

土砂災害

涙川と米代川の合流地点(米代川の水かさが増すと涙川があふれ田へ流入する)

米代川の堤防、西山農免道路

堤の堤防の崩壊

米代川

土深井沢川の氾濫

103号線五の岱付近・黒森山下・浄水場付近の法面

大湯川の増水と来満橋

発電所からの水路、大和橋から小学校に向かう道路、見通しが悪い

リハビリ病院(大湯)と奈良スタンド間土砂災害去年8月も発生、道路一時通行止め

大湯川(大和橋のあたり)

特にではないが根市自治会へ行く沢が心配

鹿倉山

部落の裏が急傾斜地

道路が狭い

村全体U字溝が入っていない

市道に接する形で沼がある個所2カ所市道でカーブ部分に3mほど落差高齢の運転者が増えており、ガードレール等の設置必要か

保田橋(中草木と保田の間)の前後に手摺か安全柵がほしい

8月9日、9月16日の大雨で万三林の坂が災害にあい、今は改修している。

三日市関村さん宅の法面(連絡済)

米代川の稲村橋周辺。大堤水位より低い家屋地域(増水、氾濫等の場合)

県道の冠水もう少しで民家に流入

東側の崖のコンクリートが老朽化している。

ないが、花小の場合坂道の崖がどのような状態か不安と高齢者からは問題があるとの意見

桜山斜面については大雨の際土砂災害発生。市道側溝の氾濫

福士川(組丁橋)の上流の崖

大堰

昨年大雨災害のような場合、大堰の西側が危険

道路が狭く、カーブが大変、自治会館のそば

自治会内より花輪一中への陳場道路は水害でがけ崩れが予想される。ぜひ対応していただきたい

昨年もあったが、福祉側とそれに連動する水路が確認する必要がある

火災の場合住宅が密集しており、怖い

下夕町62山の法面の木が大きくなってきている。福士72-3村木宅東側の法面の土の流れ

地域内アスファルト舗装道路の随所に、凸凹・段差・ひび割れあり自転車・高齢者に危険。補修した部分もあるが、再補修必要

25.8.9 の大雨で増水した深堰の土砂崩れ箇所あり

自治会区域全体が高台にある

六花横の大堰水路、ケーズデンキの法面が昨年大雨で崩れた

橋の老朽化

米代川の堤防が低いことから水が堤防を越えて自治会内に浸透してくる

米代川の氾濫。米代川増水時に集落内水路からの排水

農道太田谷地

道路等災害特に各道で大型車が故障した場合等別の道路がない

深堰が危険。大雨時、複数箇所決壊し、家、屋敷、田に大被害が出た

昨年の雨による災害で乳牛川の下流で素掘りの部分がある

農業用ため池、山崩れ(山本隆宅の前の山)、市道崩壊(女森)

不在住宅(空き家、長期入院で不在等)

傾斜地が多い

要望提出済だが、回答がない

間瀬川付近、発電所付近の水路

神社を遊具場にしているが、その途中の道路が大雨でえぐり取られ、子供たちには危険

地形的に山側の家に危険を感じる

土砂災害特別警戒区域に指定されているところがある

大雨により沢の水量が増加した場合不安を感じる

西住宅のある場所特にABC区は土手を目の前にした場所なので、増水した時などはこわいと思う

自治会区域内の危険箇所については、98 自治会(51.6%)が「ある」、76 自治会(40.0%)が「ない」と回答しました。前回調査よりも「ある」と答えた自治会の割合が増加していることから、近年頻発する自然災害により、自治会内の危険箇所について再認識したことが伺えます。

問49 自治会区域内に、災害時に一時的な避難場所としている施設・場所がありますか。

一時避難場所	自治会数	割合	H23
ある	116	61.1%	67.2%
ない	60	31.6%	31.8%
未記入	14	7.4%	1.0%
	190	100%	100%

自治会区域内の一時避難場所の有無については、未記入が多く正確な前回調査との比較はできませんが、116 自治会(61.1%)が「ある」、60 自治会(31.6%)が「ない」と回答しました。「ある」と回答した 116 自治会のうち、最も多かったのは「自治会館」で 87 自治会でした。その他にも各地区の市民センターや鹿角市交流センター、学校、公園などが挙げられていましたが、中には「避難所まで遠い」や、「一時避難所にしている会館も危険箇所にある」など、今後一時避難所の再検討が必要と思われる自治会もありました。

自治会を支援する制度についておたずねします。

問50 自治会振興交付金の内容について、考えに一番近い番号に○をつけてください。

交付額 = 基本額 (24,600 円～33,400 円) + 広報を配布する世帯対応額 (600 円×世帯数)
 (例) 50 世帯の場合 25,800 円 + 600 円×50 世帯 = 55,800 円

自治会振興交付金について	自治会数	割合	H23
現状のままでよい	136	71.6%	70.3%
見直しをしてほしい	36	18.9%	21.4%
未記入	18	9.5%	8.3%
	190	100%	100%

※自由記載欄。主な回答を抜粋

配布物等が増大し、負担が増して来たので、増額を望みたい

郵便料金などの公共料金に合わせる

増額を望みたいが財源の課題もある。基本は自主対応なので現状のままでやむをえないか？

各家屋が離れているので配布時間が掛かり、冬期は特に苦勞である

消費税増税等基本的に物価が上がっている状況。基本額だけでも見直ししてほしい

そのまま広報配布担当者の手当としております

町内会の資金になるので多いほうがいい(事業の補助)

活動自治会には倍額をお願いしたい。世帯数が少ないため、自治会館が建設できない。

広報配布世帯対応額の値上げを検討してほしい(自治会未加入者に配布対応すべきことが多い
 め)

世帯対応額の上乗せを—

各地区の活動内容に対しても考えて交付しては?年間行事を作り毎月定期的な活動をしており、今の会費では不足してきている年会費の値上げも検討中

広報配達が負担になっており見直ししてほしい

例えば自主防災組織を結成している自治会に少額でも補助あれば、会員の意識も高まり、訓練費用の足しにできる。

この額が適正なのかよくわからない

自治会振興交付金の内容については、「現状のままで良い」が 136 自治会(71.6%)、「見直しをしてほしい」が 36 自治会(18.9%)と前回調査とほぼ同じ結果となりました。自由記載欄では「配布物が多く負担が増してきたため増額してほしい」、「活動内容に対して額を上乗せしてほしい」といった交付金の増額についての要望が複数ありました。

問51 自治会元気づくり応援補助制度の内容について、考えに一番近い番号に○をつけてください。

福祉事業、環境整備事業、文化事業、交流事業など主に活動費に対して補助金を交付します。会員世帯数が30世帯以下の場合には補助率4分の3、限度額15万円。それ以外の自治会は補助率2分の1、限度額は10万円です。

自治会元気づくり応援補助金制度について	自治会数	割合	H23
現状のままでよい	139	73.2%	64.1%
見直しをしてほしい	25	13.2%	15.6%
未記入	26	13.7%	20.3%
	190	100%	100%

※自由記載欄。主な回答を抜粋

内容をあまり規制しないでほしい

世帯数の少ない自治会および高齢化率の高い自治会への割合アップを検討願います。

活用する人材(リーダー)の育成が必要

使ったことがないので良くわからない

利用の方法ですが、2年に1回くらいにしてほしい

特に使用する予定なし

現状の制度を活用しての事業の実施は難しい

補助率30世帯以上でも多くなるように見直してほしい

補助率10分の9まで希望。自治会の所得が低いいため負担が大きい

全額補助

事業の種類が異なった場合はさらなる補助をお願いしたい

自治会元気づくり応援補助金制度については、「現状のままでよい」が139自治会(73.2%)、「見直しをしてほしい」が25自治会(13.2%)と前回調査とほぼ同じ結果となりました。自由記載欄では、「補助率、限度額の見直し」や、「1度使うと3年使えないという利用制限の見直し」などが複数ありました。

問52 自治会館建設費補助制度を知っていますか。

自治会館の新增築や改修に対して補助金を交付します。新築は、会館規模に応じて補助金を算定し、補助率は概ね30%以内です。改修は、補助率は2分の1、限度額は100万円です。

自治会館建設費補助制度	自治会数	割合	H23
知っている	151	79.5%	83.3%
知らない	25	13.2%	13.0%
未記入	14	7.4%	3.6%
	190	100%	100%

問53 自治会館建設費補助制度の内容について、考えに一番近い番号に○をつけてください。

自治会館建設事業費補助制度金制度について	自治会数	割合	H23
現状のままでよい	122	64.2%	60.9%
見直しをしてほしい	34	17.9%	21.9%
未記入	34	17.9%	17.2%
	190	100%	100%

※自由記載欄。主な回答を抜粋

高齢化、一人暮らしの多くなっている現状より、建設する必要が疑問です

改修の限度額の引き上げ

会館の改修改築等は金額がかかり、積立金が十分なければならない。会費を上げると自治会辞める人が出るのではないかとと思われるので、補助金の額を再考して頂きたい

予定がないので分からない

町内としての財産が何もなく、自己資金の確保が困難

新築時の補助率を up してほしい

備品等購入にも使用できるようにしてほしい

自治会館維持(特に高齢者用)の改修費は100%補助してほしい。小さい自治会で高齢者ばかりで、改修費徴収が難しい

100~150世帯以上なければ建設費、維持費ができないのではないかと共同建設か、借店舗か。資料館を改装して利用できないか

避難所のため改修費は全額補助してほしい

補助率を取り除き、限度額をもう少し上げてほしい

他の行政区と比べてどうなのか

自治会館建設事業費補助制度について、「知っている」が151自治会(79.5%)、「知らない」が25自治会(13.2%)で、制度の内容については「現状のままでよい」が122自治会(64.2%)、「見直しをしてほしい」が34自治会(17.9%)と、前回調査とほぼ同じ結果となりました。自由記載欄では「補助率、限度額の見直し」や「全額補助にしてほしい」などが複数ありました。また、問19の結果から、築30年以上になる自治会館が多く、今後改修等が必要になる自治会が増えてくることが予想され、利用制限や限度額など補助制度の内容について検討が必要であると言えます。

問54 平成26年度より開始した自治会コミュニティ再生応援事業を利用したいと思いますか。

規模の小さい自治会（概ね30世帯以下、55歳以上の割合が50%以上）を対象に、自治会の活力再生のための活動事業と、その準備段階である活動計画策定事業に対して補助を行います。計画策定事業は補助率10分の10、限度額10万円。活動事業は補助率10分の10、限度額50万円です。2つ以上の自治会が連携して事業を行う場合は活動事業の補助限度額が100万円になります。

自治会コミュニティ再生応援	自治会数	割合
思う	42	22.1%
思わない	28	14.7%
対象外のためどちらでもない	88	46.3%
未記入	32	16.8%
	190	100%

※自由記載欄

子どもとのふれあい事業への取り組み助成願いたい

.....
 少子高齢化が進んでおり、いつか必要となるときが来るのではと考えさせられる。

.....
 活用する活力がない

.....
 30世帯以下を50世帯にしてもらいたい

.....
 機会があれば検討、利用したい

.....
 ごみ収集箱が老朽化している。その更新に活用できますか？

.....
 事例を提示してほしい。盆踊りもOKか？対象となる経費も教えてほしい。

.....
 一時助成で元に戻るとは思えない

.....
 時代の移り変わりは早くひとつの自治会の枠でできることはだんだんと少なくなると思われます。他の自治会と連携して行くことが良いのではと思われます。そのためには自分たちの自治会を時代に対応できる自治会にしておく必要があると思います。

平成26年度から新たに設けた「自治会コミュニティ再生応援事業」の利用については、「思う」が42自治会と、平成26年4月時点での対象自治会数を超え、対象外の自治会でも「利用したい」とする自治会があることが分かりました。自由記載欄でも、「30世帯以下を50世帯にしてほしい」という利用条件の緩和についての回答がありました。会館の補修やごみ収集箱の更新に利用できるかという回答がありましたが、どちらも長期継続的な自治会活動を支援する「自治会コミュニティ再生応援事業」の対象事業にはなりません。自治会館の補修は「自治会館建設事業費補助制度(問52参照)」を利用していただき、ごみ収集箱の更新については、「自治会元気づくり応援補助金制度(問53参照)」を活用することが可能です。

問55 現在の支援制度以外に新たに自治会を応援する取り組みや支援制度を希望する場合は、下記にその内容をご記入ください。

※自由記載欄

地域の祭典等文化財の保護に係る補助支援を希望したい。予算がない為、子供達に伝承するための維持管理ができない状況にあり、ぜひお願いしたい。

子供達の遊ぶ場所がなく、道路上、個人宅(家の中や庭など)で遊んでいる。地域外の遊戯施設のある場所へは事故などの危険が高い。

毛馬内盆踊りの太鼓を担当しているが、太鼓の保管、補修費用について補助があるかと思いますが具体的内容を知りたい。かつてあったように思います。

備品等購入にも使用できるようにしてほしい

部落の要望・ニーズに当てはまらない時は多少柔軟に対応願えないものか

上水道料金の見直し

自治会として小学校、中学校に積極的に応援したいと思うのでその方の支援制度も必要か

市道法面の管理

町内の空き地、米代川堤防の草刈り(美化上)警防隊予算内でやっている。地方事務所への支援制度もあると聞いているが、手続きが面倒。市のほうで一本化できないか

水道料金の基本料に助成してほしい水道料金に対して水道料金を払うのが大変なら水道導入をやめて自宅から水を持ってきて使用するとよいと言ったある部長がいたがとんでもない。他から水を持ってきて、仕事のできる時代じゃない。市に言わせれば、水道は特別事業のため料金は下げられないというが、ほとんど水を使わずに基本料金を払っている。今は自治会振興交付金の半分を水道料でとられる。他にもいろいろ助成金を出すのに、基本料金に対する助成金を出せないことはないと思う。

取り組みに枠をはめないで自治会が要望することには積極的に支援をお願いしたい

高齢者の一人暮らし世帯は自治会にとっては大きな課題の一つです。自治会全体の人達も高齢化が進んでままならないことが多い訳でそのへんのところへの対策が必要のようです。

現在の支援制度以外の自治会を応援する新たな取り組みや支援制度については、自治会の「要望、ニーズにあうような柔軟な対応」「取り組みに枠をはめないで自治会の要望することに積極的に支援を」という、自治会に対する幅広い支援を求める回答が複数ありました。

自治会の特徴・魅力・課題などについておたずねします。

問56 自治会のシンボル・資源・誇りに思うものは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

自治会のシンボル・魅力に思うもの	自治会数	割合
①自然環境	71	37.4%
②街並み・建物	20	10.5%
③温泉	12	6.3%
④祭り	43	22.6%
⑤郷土芸能	33	17.4%
⑥伝統工芸	6	3.2%
⑦遺跡・史跡	16	8.4%
⑧特産物	14	7.4%
⑨水資源	29	15.3%
⑩動植	14	7.4%
⑪郷土料理	16	8.4%
⑫産業	12	6.3%
⑬その他	20	10.5%
⑭未記入	68	35.8%

※具体的にどのようなものがあるか

盆踊り

田に使用している水は真水です

養豚場の悪臭さえなければ最高の集落です。

八幡神社例大祭(兄川舞)、大日堂舞楽

山林特産物の規制や入山料が取れないか

保全隊の活動で部落内の道路の両脇に水仙を植えていて、春先にはきれいに咲きます。休遊地は自治会員の協力により草刈りを行っています。神社の祭典は自治会で運営して存続しています。自治会の行事には高齢者でも積極的に参加してくれます。

5・毎年5月と9月に開催している八幡神社例大祭での大森親山獅子大権現舞の奉納

7・長泉寺、三光塚

1・おだやかな田舎風景

三世代広場、五流根公園(サクラ)、虫送り、演芸会、盆踊り(五年程休んでいる)

自主防災訓練が毎年100名以上の参加、自治会運動会37回。150名の参加

歴史(町が形成された経緯、経過)

子ども会、老人クラブメインのみこし

ヒバによる垣根

お祭り、盆踊り、こもせ

月山神社祭典における子供みこし、七夕まつり等参加し(若者中心に)出来る範囲で頑張っているところ

湧水が豊富である年二回の神社祭り

共同井戸、湧水

会員の絆、やる気

錦木塚

会館前のグラウンド内の桜

下の湯共同浴場、大湯ばやし

シロと佐多六の公園、大太鼓

御旅所を大切にしたいと考えている。できるだけ美化を心がけたい

地藏尊祭典

米代川お祭り広場の美化、周辺堤防の美化と草刈りを頻繁に行うことで、地域の美化に貢献していると思う。

鹿角市唯一の造り酒屋がある

花輪ばやしの屋台のようなアーケードの柱

花輪ねふた、幸稲荷神社祭典、町踊り

花輪ばやし七夕まつり町踊り、江戸時代の同心町跡地

高齢者が協力して、活動に参加している

米代川河川敷、米代川

運動公園に近いのがメリットだが、老人にとっては冬を考えると最悪の所である

いとくショッピングセンターには市内全域から人が来る周りのゴミ拾いや花壇づくり、公園の整備等草刈り、草取り年数回実施している。独自に下夕町夏祭りの実施、敬老会、餅つき大会、運動会等年間を通しての活動を展開、団結力を高めている。

新興住宅地であり、特になし。病院、スーパー、バス停等が近く、住宅環境には恵まれている

特になし

小坂一区自治会地域内にアメニティパーク等の群がる場、地域の茶の間の雰囲気でも活用している。問題点イベント開催前後集中する歩行者、駐車場、乗用車の混乱 公園側道路側、蓋無側溝道路で危険度高い・道路を狭くしている・木の葉の処理が大変 解決点・23年度市に蓋設置をお願いしている。水害復旧工事のため遅れている 連絡受 関係者共了解済み

3地区が合同で行っている事業、運動会、祭典、どんと祭り等 子供会は人数が多く、(約90名)事業行事等の活動が活発で若い親世代の交流がなされている

ミニ花輪ばやし、屋台巡行をする夜の盆踊り、正月のどんと焼き

・米がおいしい ・蛍の生息地がある ・漬物作りのうまい人がいる

トゲウオの生息する沼、下川原の駒踊り

花壇、高屋健康祭

農地、果樹園等

大太鼓の継承と保存、古くから一部家庭で飲料水で湧水？を使用している

自治会のシンボル・資源・誇りに思うものについては、「自然環境」(71自治会)、「祭り」(43自治会)、「郷土芸能」(33自治会)などが多くの自治会から挙げられていましたが、未記入の自治会が68自治会あることから、地域の魅力を見つめなおす機会を設け、より多くの自治会が地域への愛着や誇りを持てるようにする必要があります。

問57 自治会で現在、課題となっていることは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

現在の自治会の課題	自治会数	割合
地域や集落の景観保全	15	7.9%
地域安全・防犯・防災	62	32.6%
地域文化の継承・保存	49	25.8%
河川・水路・水源の維持管理	66	34.7%
公園・道路の維持管理	39	20.5%
自治会活動の停滞	31	16.3%
会員数の減少	98	51.6%
ひとり暮らし高齢者世帯の増加	127	66.8%
空き家等の適正管理	73	38.4%
ごみや騒音などの環境問題	9	4.7%
自治会の存続	28	14.7%
その他	2	1.1%
未記入	18	9.5%

※自由記載欄

独身男性が多く。よって子供がほとんどいない。子供いないので子供会もなく、子供に関連する行事無くなっている。市民運動会の年代別リレー等に参加できない。

交通事故対策(旧国道が2路線あり、交通量が多い)

青年会はなくなり、老人クラブもなくなった。道路の近くにある空き家に不安を感じる

自治会活動への参加者を増やして、会員同士のコミュニケーションを計り、自治会を盛り上げたい。

人口減少による祭事の継続が厳しくなっております。国指定を受けたこともあり、継承は国レベルの課題です。他地区からの参加も大歓迎ですが、解決策がないかと...

特にないか?新会員の増加により、15年程前に建てた会館が総会等で利用する際に狭く感じるようになってきた

西山養豚団地からの悪臭

出来てからまだ日のあさい自治会ですが、この先自治会をどう方向づけて行くのか、若い世代が少ない中でリーダーとなるべき人を確保できるか問題です。

現在の自治会の課題については、前回調査と同様に、「ひとり暮らし高齢者世帯の増加」が127自治会と最も多く、次いで「会員数の減少」が98自治会でした。また、今回新たに設けた項目の「空き家等の適正管理」は73自治会、「ごみや騒音などの環境問題」は9自治会、「自治会の存続」は28自治会となり、緊急性の高い課題を抱える自治会が多いことが分かりました。

問58 その他、自治会に関して要望や意見などを自由にご記入ください。

自治会運営等について
行政より一人暮他の情報が無いので今後の活動が大変です。
少子高齢化が進み活動力が低下している。自治会組織の減退が気になる
・自治会の総会と老人クラブの総会の出席者がほとんど同じ。家庭内の世代交代が進んでいない。 ・総会に出ない人はいつも決まっている。 ・高齢化が進んで行事等もなかなか組めない。
毛馬内婦人会がなくなりました。敬老会を手伝える方がおりません。仕事や家庭の事情(介護)があり、外に出る手間・時間が取れず、町内会としても依頼するのは無理です。
高齢化が進み、80歳ぐらいを界に事業、行事等へ参加できない人が増えてきているように思います。空き家もあります(近年2件解体しました。)。危険な状態の空き家もありますので善処よろしくお願ひしたいと思ひます。
近隣の自治会との役員会を開き、同じ課題について市への要望、及び自治会活動について話し合いたい(沢口一、二区、盆坂、荒屋敷、三日市、新田町)
世帯数減少、高齢者増加、若者減少により、自治会活動、運営に支障を来している。市の支援がほしい。具体的にどのような支援ができるか検討してほしい(補助金だけでなく)
市内の各自治会では会費は何円でどんな活動しているのか、又、活動していく中で何をしたら成功したのか、失敗したのか各自治会活動を点検し合い、自分の自治会活動に生かしていきたい。・人はいるが役員のみ手がいなくて悩んでいる自治会は多いと思う。・各自治会役員の交流会を行う中で学習し、担い手づくりが必要と思う。
アパートに約50世帯分広報等配布しておりますが、入退去の確認がわからず苦勞している。アパートに転居する方には自治会への連絡(入会)を願ひたい。また、他自治会と話し合いの中でも問題ありとして自治会に入会していない世帯と会員世帯のメリット、デメリットがはっきりしていない。会に入っていないと不自由だということがなく、年間一万円位になる出資がない市の担当者はどのように考えているのか? 入会にあたっての説明も難儀している
市役所の転居者(アパート)への配慮に感謝します。会員が減少していく中で転居された方に自治会町名・電話番号を記載した文書を渡すことで会長を訪ねていただける。大変ありがたい。アパート、借家の人の加入が問題。防災・防犯上からもぜひ地域とかかわりを持っていただくよう進言よろしくお願ひします。
配布物やアンケートその他多方面にわたる会議等自治会長の負担が大きい。また、働いている人がほとんど自治会にかかわっているため、役員のみ手がいなくて
このままでは自治会の存続が危惧される。課題はたくさんあると思うが役員(リーダー)の育成と女性リーダーの自治会参画を図り、急場を凌げないだろうかと思っている。鹿角市にもその為の協力をお願ひしたい

自治会への補助制度等について
問55に記載しましたが、ぜひ！伝承文化の維持管理のための支援(補助金等)を検討してほしい。お願いします。鹿角市指定無形民俗文化財である祭典の維持管理等のための車両の借り上げ、又は器具備品、消耗品等に係る補助金支援をお願いしたい。少子化に伴う若者の減少が大きく、祭典文化を継承していくことが大変困難な時期を迎えており、絶大なる支援をお願いします。
会館の行事で高齢者が多くなりテーブル・イス等を購入したい
自治会元気づくり交付金が面倒くさい。酒代がダメ等おかしい。コミュニケーションに酒はつきもの。もっとシンプルに助成金を出してもらいたい。年の予算額は決められていると思うが、活動している自治会には毎年助成してもらいたい。 自治会未加入世帯者は祭り、各種募金は一切していないと思う。まったく不公平であるため、全世帯に自治会加入義務を定める条例等作れないものか

要望・災害対応等について
昨年の水害において危険カ所が見受けられる。これを事前に予防することを検討してもらいたい。
市道の道路の舗装の劣化した個所が多くなってきています。穴埋め等の補修作業では冬場まで持たない箇所も多いです。全面的に舗装のうち替え等をよろしくお願いしたいと思います。
町内会からの要望に対してはいろいろ配慮していただき感謝申し上げます。これからも行政と協力し、より良い地域にしたいものと考えております。
屋根の雪が道路に滑り落ちるような構造のお宅がある。朝の除雪の後に道路半分までも落ちていることがあり、非常に危険。市の条例で定める等して、皆が気分よく、安心して生活できたらと思う。
一番不安なのは深堰決壊すれば被害を受けるのは住民。何とかしてもらいたい。

その他
空き家対策も市では実行に移してきているが強く出ていただきたい。当自治会は町営住宅の名残で当時90世帯もあったが、現在は50世帯はになり老人クラブも高齢のために解散、子供会も5人であと数年で解散になると思われる。会員の健康寿命を延ばすため、健康講座等を定期的に行っています
自治会で昔から山林を持っているが(小深田農事組合)毎年山の草刈りを行っているが、年々参加者が減っている。山林の税金負担が多く脱退希望者が多くなっている。よってできれば農事組合の山は免税にしてほしい。昔と違い山からの収入がないので
今後とも多方面にわたる支援をお願いしたい
自治会内それぞれの会(青年部、婦人部)